

皆さんからの情報を収集しています。  
地区内行事、ボランティア活動など何でもOK!  
企画調整課 ☎82-5728 までご連絡ください。

ぼく★わたしの  
自信作

版画 越後の夕映え「を寄贈

画家 近藤薫さん(新潟市在住)  
近藤さんは、心象風景絵画を中心に活動をされており、エアブラシという技法を使うことによって、美しいグラデーションを表現しています。今回寄贈の作品は、絵画を版画刷りにしたもので、稲刈りが済んだ後の田んぼを秋雨が濡し、ハサ木がその細長いシルエットを水に映す。そして、紅い夕日が青い空と大地を優しく包み込み、その境目が紫色に輝く一瞬を描いたものです。作品は正面玄関側の階段上り口に飾られています。ぜひご覧ください。



●和納保育園 5歳児  
〈作品名〉“すいか だいすき いただきます”



【後列左から】ひくちこうへいくん、おおせきかれんちゃん、おきのしんくん  
【前列左から】まきたまみかちゃん、おきのゆうかちゃん、おおたけあつしくん、なりたりさこちゃん

- 6月 大豆をまく (6月13日)
- 6月 苗を植える (6月27日)
- 8月 草取り、水やり (7~8月初)
- 9月 一部収穫・枝豆 (9月上旬)
- 10月 大豆収穫 (10月)
- 11月 大豆加工品作り (11月)



総合学習の一環で和納小学校が取り組んでいる大豆づくり。今回は苗の植え付けです。6月13日にまいた大豆が立派な苗に成長した6月27日、和納6区の転作田に集合した4・5年生108人は、裸足になって元気に田んぼに入ると、畝の上に張られたテープの赤い目印にそって均等に植えていきます。当日は、農村地域生活アドバイザーやJAの協力もあり、740㎡の田んぼにきれいに植えられた苗は約6千本。子どもたちは「土の感触が足に気持ちよかった」と感想を話してくれました。

今後は、草取りや水やりを行い、収穫まで大事に育てます。

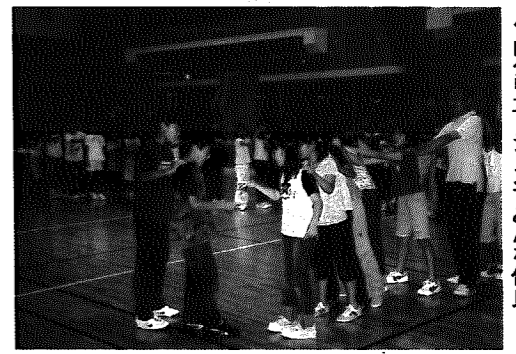
シリーズ  
大豆づくりも挑戦中  
「第2回 苗を植える」の巻



▶ 自慢の歌や踊りで観客を魅了

今年も盛大に「芸能発表会」

～ 歌や踊りを楽しんで心の栄養補給をしましょう～  
村文化協会の主催により、年に1度の「芸能発表会」が先月6日村民体育館で盛大に行われました。今回で20回目を迎えたこの発表会。今年は村より11団体、弥彦村文化協会より弥彦民謡協会・矢作里神楽保存会の皆さんが参加し、大正琴から民謡、合唱、カラオケ、ダンスまで幅広く合わせて40演目が行われました。当日は蒸し暑い中、出演者の家族やファンなど、訪れた約300名の観客は、フロアを使ったダンスや会場に響きわたる歌声や音色など、各団体の熱演・熱唱に大きな拍手を送っていました。



◀ レクリエーションでみんな仲良し

少年少女宿泊研修「めだかの学校」が開校

～ 新しい友だちいっぱいできたぞ! 充実の2日間～  
先月5日、6日にかけて小学校4年生から6年生を対象に、子どもたちの自主性と協調性を目的とした、少年少女宿泊研修「めだかの学校」が間瀬やすら木で開催され、43名の子どもたちが参加しました。子どもたちはテント張りや料理など、子ども会のお父さんやお母さんの指導のもと、協力しあいながら取り組んでいました。また、レクリエーションゲームを通して親睦を深め、新しい友だちができたりと、楽しい思い出をたくさん作った子どもたち。帰る頃には、ひとまわり大きく成長した子どもたちの姿がありました。



▶ 村長室で帰国報告する真島さん

青年海外協力隊で活動の真島さん 任期满了により帰国!!

～ 中国河南省の衛生学校で2年間歯科技工技術を指導～  
平成13年6月から2年間、青年海外協力隊として中国で活動していた真島賢さん(石瀬)が、今年6月上旬任期满了で帰国し、6月30日坂爪村長を訪問して、帰国報告を行いました。真島さんは、河南省開封市にある衛生学校に勤務し、歯科技工の講師として学生らに指導してきました。「中国は物価が安いし、果物もおいしかった。人間も素朴で温かいが、社会システムの違いからくる日本人との考え方のギャップに少し戸惑いました。イラクや北朝鮮問題などで国際情勢が揺れ動く中、離れた日本がやっぱり気になりましたね」と向こうでの感想を話してくれた真島さん。この経験を生かし、さらなる飛躍が期待されます。



◀ 海水浴の安全を祈願する出席者たち

やってきます! 暑い夏

～ 夏到来! 海水浴場安全祈願祭 ～

毎年県内外から多くの海水浴客が訪れる間瀬海水浴場。今年は、田ノ浦海水浴場の旅館において先月15日、岩室村海水浴場安全祈願祭が行われ、国会議員をはじめ約50名の関係者が出席し、海の安全と海水浴場の繁栄を祈願しました。当日は梅雨明け間近を思わせる絶好の天気。まず、旅館において間瀬海雲寺住職の読経、続いて関係者が焼香を行いました。その後、主催者を代表して高島哲男観光協会会長が浜辺へ行き、海に向かって花束を投げ入れ、海水浴シーズン中の安全と海水浴場の繁栄を祈りました。